

4年2組

 275日の紙ヒコーキ
 ~より長く、より遠くへ~


株式会社JAL様 オンライン授業

10月26日にJALの小橋さん(ヒコぼん)によるオンライン授業がありました。子どもたちの「もっと紙ヒコーキを楽しみたい」「もっと上手に折りたい」「もっと長い時間飛ばしたい」「もっと遠くへ飛ばしたい」という願いのもと実現しました。

オンライン授業では、最初にJALという会社について教えていただきました。ボーイングという飛行機の種類のこと。仕事内容による制服の違いのこと。世界中で1日約1000便飛んでいること。飛行機は上空約10000mを飛んでいることなどを教えていただきました。

さて、ここでクイズです。JALで初めての機内食は何だと思いますか？①お寿司、②カレーライス、③サンドイッチ。(ヒント:手間がかからない、お手軽、軽い) 答えは、③サンドイッチだそうです。

今回は「イカヒコーキ」作りを通して、折り方のポイントや、投げ方のポイントを教えていただきました。子どもによっては何度も作ったことがある紙ヒコーキでしたが、「爪を使って折らないこと」「折り目は蕎麦1本分あけること」など、初めて知ったことを前のめりになって話を聞く姿が見られました。また、教えていただいたことを逃さずにメモをとる姿も見られました。「より長く、より遠くへ」飛ばしたいという願いのために、真剣に学びに向かう姿がとても素敵でした。



授業の最後に体育館に行き、小橋さんに教えていただいたイカヒコーキを飛ばしました。今まであまり遠くまで飛ばせなかった子どもも、見違えるほど遠くまで飛ばすことができおり、子どもたちは満面の笑みで喜んでいました。

振り返りでは、「前よりすごく飛ぶようになってうれしい」、「きれいに折るという課題が解決できてよかった」、「投げる前は『Y』の字、飛んでいるときに『T』の字になるように調節することが分かった」、「紙は触りすぎると手の油がつくから触りすぎないようにしたい」、「次は左右に曲がる理由をもっと追究して解決してみたい」、「紙ヒコーキってすごく深い。もっと飛ばすにはどうしたらいいか。何が必要か知りたい。紙ヒコーキがもっと好きになった」、「昇降舵の調節がもっとできるようになりたい」など、できるようになったことを喜んだり、次の課題を設定したりする記述が見られました。

特別授業の次の日から、朝の時間や休み時間に紙ヒコーキを飛ばす姿が増えてきました。特別授業を通して、さらに紙ヒコーキに魅力を感じ、追究してみたいという気持ちが高まったように感じます。やはり紙ヒコーキは奥が深いです。

